

新盆万灯塔婆供養

8月15日(金)午後16時30分より
～本年初めてお盆を迎える御霊の御塔婆供養です～

お焚き上げ供養

8月20日(水)午前11時より
※お焚き上げを希望される方は11時までにお持ち下さい。

手稲区禅徳寺 副住職 **柿崎孝彰** 老師
御法話 午後12時45分より

お盆大塔婆供養

8月20日(水)午後13時30分より
～御先祖様への感謝報恩の御塔婆供養です～

昼食のご用意をしておりますのでご家族様でお越し下さい。

道しるべ

令和七年
お盆号

宮の森 大乘院

大乘院寺報 令和7年7月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第100号

暑中お見舞い 申し上げます

住職 田中清元

終戦八〇年。昭和二〇〇年の節目となる今年のお盆。改めて、過酷な戦争の歴史に思いを寄せ、ウクライナ・ロシアや中東の戦争で今なお一般の方が犠牲になっている事実、黙とうを捧げ、数知れない多くの御霊を悼む時間を持ちたいものです。

お盆はそのむかし、お釈迦様の十大弟子の一人で神通第一といわれた目蓮尊者が極楽の世界で安穩に暮らしている母に目会いたいと天眼通力をもつて捜しましたがどこにも見当たらず、娑婆世界を見渡してもどこにも見当たらないため、三千大千世界を駆けめぐりようやく探し当てた母は地獄に近い餓鬼道の苦しみを受けていたのです。自らのチカラでは母を救うことはでき無いと知った目蓮尊者はお釈迦様に救いを求めると、こうおっしゃいました。

「汝の母罪根を深く結ぶ、汝一人の力をもつていかんともするなし。衆僧威神の力をもつてこれを救うべし」(仏説盂蘭盆經) このお話は、愛情というものがいかに深く強いものであっても、それだけでは身勝手なもので、他のものを傷つけもし、罪を犯すことにもなることを示されている。目蓮尊者の母の深い愛情はわが子にだけ向けられたものでした。

仏の教えは他の者の生き方や在り方を認め、互いに思いやっていかうとする慈悲に導かれなければなりません。慈悲の心を生み出すもの(菩薩行)、それはものごとを分け隔てなく見ることの出来る智慧と、みづからが生かされていることに対する感謝の心です。

謝の心です。

孟蘭盆会で行われるお施餓鬼は、供養されない無縁の霊に対しても仏法の施しをすることを通して、生きとし生けるものへの感謝を現わす供養です。すべての御霊に対して施すお盆のご供養、それはもちろん親愛なる方々へのご供養ですが、その根底に万物への感謝の心がなければならぬことを仏様は教えているのです。さて、目蓮尊者のお母様はその後どうなったのか。

お釈迦様に教えられた「衆僧威神の力をもつてこれを救うべし」を守り、七月十五日(現代では八月十五日)の安居修了(僧自恣)の日にすべての修行僧がおられる僧迦の塔にお供物を「お盆」にもってささげ、御馳走をふるまい、僧侶たちは三世萬霊の為に感謝のお経を唱えました。その結果、目蓮尊者のお母様を初め全体的方が餓鬼道の世界から救われたそうです。それを知った目蓮尊者や村人達が喜び踊った姿から、笛や太鼓が加わって「盆踊り」が始まったといわれています。皆さんは何かお気づきになりましたでしょうか？

お釈迦様は、目蓮尊者のお母様を餓鬼道から救う助言をしました。そしてお母様だけを助けたという目蓮尊者をも餓鬼道から救ったということ！ 私たちの命を繋いで下さった御先祖様だけではなく、すべての御霊と万物への感謝をささげる八月(孟蘭盆の月)をお迎えしましょう。



花まつり ～釈尊降誕会～ 令和7年5月11日

5月11日(日)毎年恒例の薬王寺花まつり釈尊降誕会を勤修致しました。

本年は当山副住職が導師を務めました。続いて参詣された方は、誕生仏にあま茶をかけてお祝いを致しました。

法要終了後は子供たちのゲームコーナーの開催です！今年は、射的やスパーボールすくいなど、たくさんさんのゲームで盛り上がりました！

そして最後に浜頓別町永生寺副住職でシンガーソングライターの加藤照章さんにより花まつりライブを行いました。



活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

坐禅会 体と心を 調えましょう! 毎月1日・15日 午前7時より 参加無料		子ども空手教室 心と体を 鍛えましょう 毎週月・木・土曜日 午後5時より お寺	
ご詠歌 仲良く楽しく 唱えましょう 毎週金曜日 午後1時より 会費あり		スキー少年団 心と頭と感性を 磨きましょう	
市内体育館のヨガ講師とお寺の静かな環境でヨガをしませんか? 寺ヨガ教室 新本堂の蔵かな空間で20名ほどの方にご参加いただきました。 ダイエット効果や冷え性改善、疲れにくいカラダを作るのに大変好評です。 ぜひ一度体験下さい！			
●日 時／第4火曜日 午前11:00-12:15(75分) ●場 所／薬王寺新本堂 ●参加料／1,500円 ●持ち物／お水、タオル、ヨガマット(持参できる方) 予約は090-3779-6838 下里まで			

8月に年忌法事にあたる方へ

お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりますが、お時間やご納骨についてはご相談させていただければと思います。また繰り上げの場合、例年七月に集中致しますので、お早めにご相談ください。

8月に
お伺い
できない日

 ◎棚経期間
 ◎お墓参り期間
 ◎法要の日

 2013日
13日
1日
16日
12日

この日以外のご法事はお受けできますが、あらかじめ日時をご相談の上、決定して下さい。

法要のご相談や行事の確認も、LINEでいつでもお気軽に。

QRコードを読み込んで
友だち登録



登録はコチラ

@145illbx
でLINE ID検索



- ・お寺からのお知らせも LINE で
- ・チャットでお問合せできます
- ・御祈祷のお申込みもこちら
- ・塔婆供養、万灯供養も
- ・Google Map ヘルリンク
- ・公式サイトヘルリンク

8月 お参り予定 お盆供養

(月参りはお休みです)

1日、12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお参りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆参りのお願いです】

●住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
●ハガキに午前・午後と、時間帯に○印が付いていますが、おおよその目安で前後することもございます。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。

●この期間中は、お寺に僧侶が不在がちですので御了承下さい。

●お伺いの際に水供養塔婆・水塔婆をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えると丁寧ですね。



※十六日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等にくるみ、来年のお盆か、次の御命日の時に、お渡し下さい。

◆お盆のお参りにお伺いいたします

夏らしい日が続いております。お参りに伺うと皆様から、お茶を出していただいたり、いろいろなお話を伺ったり、故人様、仏様が作ってくださった仏縁に感謝しています。今年もご自宅等へお盆のお参りをさせていただきます。



住職 田中 清元



副住職 田中 基裕



森川 敬道



院代 橋坂 慎龍



鶴間 隆道



井崎 信海

お盆は御先祖様や人と人との繋がりを大切にする時間でもあります。今年もお寺とご縁のあるお坊さんにお盆経のお手伝いをして頂きます。



廣澤 一徳

また、皆様にご愛がって頂いている御住職のお孫さんで副住職の長男田中裕元君と次男田中紘元君が昨年に引き続き山内でお勤めをする事になりました。未熟な部分があるかも知れませんが温かく見守って頂けると幸いです。

13日、16日

お墓参りの期間です

※お寺の開門は

午前7時から午後7時まで

◇御先祖様のお墓にお参りに行きます。お寺では朝七時より夜七時まで開門してまします。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

《駐車場ののご案内》

新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

貴重品は必ず
お持ち下さい!

15日 新盆供養

午後四時半より

今年新盆の方は、令和六年六月二十六日、令和七年六月二十五日迄の仏様です。



◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。午後四時までお越し下さい。
(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)

◆大塔婆供養

だいたうば

今年法事を迎えられる方、御年忌に当たらずとも御先祖様への御供養のために感謝報恩の大塔婆供養をおすすめします。御供養されたお塔婆は境内地に来年夏まで建立安置させて頂きます。

また、やむなく、ご法事や棚経、お墓参りを見合わせた方には特にお塔婆の建立をお勧めいたします。

※当日お越しになれない方は、お寺で代わりにお勤め致しますのでご安心ください。

◆お塔婆の意味と目的

お塔婆とは、もともと仏塔という意味の「ストウパ」が語源とされ、お釈迦様のご遺骨を納められた五輪塔がその由来です。五輪塔の5つの形の意味は、上から宝珠型「空」、半円「風」、三角「火」、円「水」、四角「地」となり、宇宙を構成する5つの要素を表し、仏教では人間もこの5つの要素によって生かされていると教えられています。

塔婆を建立することは最も善行とされていて、それは故人やご先祖様の善行ともなり、追善供養を行うということになります。

◆今年のお参りは手ぶらでお越し頂けます



いつもお参りご苦労様で御座います。今年のお盆はお檀家様のご負担を少しでも軽減出来たらと、8月9日(土)・11日(月)、13日(水)・15日(金)で山内で仏花をお求め頂けるようになります。今年のお参りは手ぶらでお越しください。

御先祖供養、回忌供養の方は二十日の法要へお越し下さい

16日 お供物のお下げ

午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂きお掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。

当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要

午後一時半より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方にはご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様へのご供養もしております。

当日ご参詣になれない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。

◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。



21日 からの参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中のお詣り)、ご法事のお勤めにあがりますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

《護持会費について》年間一万円

檀信徒皆様が気持ち良くお参り頂けるように、お寺や境内地を管理・整備させて頂く為の大切な会費です。境内の「お墓や納骨堂の有無に関わらず」月命日、本命日やお盆、ご法事等に伺っている場合には、必ずお納め頂く会費です、どうかご理解御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

8月17日 滝野霊園 13時より



8月17日に札幌市南区の真駒内滝野霊園にて「シベリア抑留関係者慰霊祭」を行います。

シベリアを中心とするソ連各地に抑留され、抑留中に外地で亡くなった犠牲者を悼み、戦後強制抑留中死亡者、抑留関係者またはそのご遺族に対して、慰藉の念を表明しております。

関係者の労苦を広く国民に伝え、その理解を深めるための活動として全国抑留者協会の北海道支部長である当山御住職により毎年活動を行っております。

終戦80年の節目となる本年、ご参詣頂けましたら幸いです。

新盆法要・孟蘭盆法要の御案内

○新盆法要

八月十五日 午後四時三十分より
(令和六年六月二十六日から令和七年六月二十五日まで)に亡くなった方が迎える初めのお盆法要

○孟蘭盆会法要

八月二十日 午後一時半より

◆お塔婆供養

「お塔婆」とは亡き御先祖様の御霊の成仏・安寧を願ひ、家族そして友人などによつて建てられるもので、故人への便りでもあります。御先祖様を大切にすることは自分を大切にすること。ご供養するその功德は全てのものにめぐります。

本年初めてお盆を迎えられる方や、回忌にあたる方には塔婆供養をお勧め致します。

御塔婆は二年間境内に安置し御供養致します。

◆お塔婆申し込みについて

- ・お塔婆(大塔婆) 供養料 一霊二家名……………二万円
- ・お塔婆(中塔婆) 供養料 一家名……………五千円

お申込みいただく際は同封の申込書にご記入のうえ僧侶に直接お渡しいただくかご郵送下さい。

※ご不明点・ご質問などは遠慮なくお寺へご連絡下さい。

